

新聞を使った授業⑥

3年国語科にゲストティチャー(GT)

【何時】11月25日(月)の2校時に、【どこで】本校で、【誰が】茨城新聞社の記者3名が、【なぜ】「新聞のひみつ」を伝えるために、【何を】国語科の出前授業を行いました。【どのように】授業は3つのグループに分かれて、各GTから、全員が手渡されたこの日の新聞を使い、「5W1H」や「逆三角形」など、前回のNIE講習会の復習をしながら、見出しの文字数や写真の配置の仕方など、読者の注目を集めるための新聞作りの工夫について詳しく学びました。

新聞は何ページではなく、何面と言うとか、新聞広告も紙面のどの位置かによって値段が変わるなど裏話も聞けて、生徒たちは「新聞の見出しをコンパクトにしたり、文章を逆三角形にするのも意味があることがよく分かりました」と感心しながらワークシートにメモしていました。次回、12月10日(火)には写真部の記者がGTで来校予定です。



気になる記事コーナー14

新聞には、各紙とも様々な分野で、活躍した人や今後、活躍が期待される人など、注目の人を紹介するコーナーがあります。今回紹介するのは、朝日新聞のタイトルはズ

徹底したデータ分析で関西学生リーグ首位打者になった

きたの よしかつ
北野 嘉一 さん(20)

京都大硬式野球部は、関西学生リーグで2000年秋以来ずっと「定位置」だった最下位を脱出し、4位になったチーム躍進の原動力となりました。

難関大学の京都大生らしく、「目標に向かって、妥協せず準備して臨むのは、勉強も野球も同じでした」と語る北野さん。10試合以上のデータを集め、相手投手の配給やグラブの動きの癖などを、仲間と共に研究。その研究データを武器に、ドラフト指名を受けた近畿大学のエースからも2安打を放ちました。

準備の大切さ！是非、見習いたいものですね。

文写真 高橋也子

朝日新聞 11月16日(土)の記事

バリ「ひと」です。

今回、紹介されている「ひと」は、京都大学硬式野球部の北野嘉一さん。関西学生野球連盟は春と秋にリーグ戦を実施していますが、秋のリーグ戦で、北野さんは、外野手の主力として活躍。見事、首位打者に輝き、2000年の秋以来ずっと「定位置」だった最下位を脱出し、4位になったチーム躍進の原動力となりました。

難関大学の京都大生らしく、「目標に向かって、妥協せず準備して臨むのは、勉強も野球も同じでした」と語る北野さん。10試合以上のデータを集め、相手投手の配給やグラブの動きの癖などを、仲間と共に研究。その研究データを武器に、ドラフト指名を受けた近畿大学のエースからも2安打を放ちました。

準備の大切さ！是非、見習いたいものですね。